

# 平成 1 8 年 度 事 業 計 画

## 総 括

最近の雇用情勢は、全国的には緩やかな景気回復にあるものの、鳥取県における有効求人倍率は前年と変わらない状況にあり、依然厳しい状況にあるといわれている。また、転職希望者や新たに仕事を探す人が依然として増加しており、求人と求職のミスマッチが懸念されている。一方、新規高等学校卒業者の雇用環境は、就職内定率が前年を上回り改善の兆しがあるものの、依然として未就職卒業者が多くあり、フリーターの増加が懸念されるとともに、ニートへの対応などの課題が惹起されている。

そのため、引き続き雇用環境の整備・改善を図り、魅力ある地域社会を創出し、円滑な人材の移動に取り組むとともに、若年者の早期就職やその後安定した就職生活の促進を図る。

## 財団の運営・管理

理事会の開催 運営方針の決定等（年 4 回）  
その他の管理 資産の適切な管理等

## 地域雇用環境整備事業の推進

Uターン希望者を取り巻く雇用環境は、厳しい経済情勢の中にあって、地域求職者の枠を超えた求人は狭き門となっている。一方、県外に流出している人材は、本県産業を担う貴重な人材であり、引き続き人材の確保、育成、定住の促進を図る。

### 1 事業の推進

#### (1) 情報の収集・管理

Uターン登録制度の周知・啓発を行うとともに、Uターン求人情報の収集・提供及び定住相談等を行う。

#### (2) 無料職業紹介

Uターン登録制度と一体的にUターン希望者に無料職業紹介を行う。

#### (3) U J I ターン連絡会議の開催

鳥取労働局、鳥取県、東京・大阪事務所及び同定住相談員並びに県民局等と意見交換を行い、連携して横断的なUターン施策の推進を図る。

### 2 ふるさと就職促進事業

#### (1) 事業の周知・啓発

各種情報の提供

広く県民にUターン登録制度を紹介するとともに、定住に関する各種情報を提供する。

広報・啓発	—	* 財団リ - フレット(4月)
	—	* Uタ - ン登録制度の紹介(4月)
	—	* 鳥夢 <sup>3</sup> (トリームキューブ) 案内(12月)
求人情報の提	—	* インタ - ネットによるUタ - ン求人情報提供
	—	* Uタ - ン求人情報誌の発行(7、11、3月)
各種情報誌の発行	—	* 機関誌とりぶ(7、11、3月)
	—	* 企業ガイドブック(4月)
	—	* 暮らしのガイドブック(4月)

#### 広島・岡山定住情報コ - ナ - の運営

鳥取銀行広島支店及び岡山支店に設置させていただいている定住情報コ - ナ - において、山陽地域のUタ - ン希望者等に対し就職・定住情報を提供する。

#### 鳥夢<sup>3</sup> (トリームキューブ) の推進

県内高校を卒業し、県外の大学等へ進学する学生を対象に、自分のふるさと鳥取県への興味や愛着心を持ち続けてもらうとともに、将来の就職活動の選択肢としての県内就職情報等を提供する。

#### (2) ふるさと鳥取定住コ - ナ - の運営

県外情報発信基地として県が設置している東京・大阪事務所内「ふるさと鳥取定住コ - ナ - 」において、連携して首都圏・近畿圏のUタ - ン希望者等に対してUタ - ン求人情報を提供するとともに、就職・定住相談を実施する。

#### (3) とっとり就職フェア2006の開催

企業の人材確保及びUタ - ン等の促進を図るため、首都圏、近畿圏等に在住する大学生等及びUタ - ン希望者等を対象に、就職フェアを開催する。

開催 4月：東京・大阪

### 3 助成金交付事業

県外就職フェアへ企業が参加しやすい環境を整備するため、参加費用の一部を助成する。また、Uタ - ン等の円滑な推進を図るため、Uタ - ン者等を採用し、住居等の移転費用を支給した事業主に対し、当該費用を助成する。

フェア参加企業助成金：1社1人、大阪10,000円、東京25,000円

Uタ - ン者等移転費用助成金：限度額1人15万円、予定7人

### 4 調査研究事業

地域雇用開発の方策について先進優良事例等の調査・研究を行い、効果的・効率的な地域雇用環境の整備・改善に資する事業を創出する。

## 地域求職活動援助事業の推進

地域求職者に対し、求人情報が適切に提供されていないため、労働力のミスマッチが発生している東・中部及び西部求職活動援助地域について、適時・適切な人材受入情報の収集を行うとともに、地域求職者の就職を容易にするための各種支援事業を実施する。

### 1 事業の広報・啓発

事業の利用促進を図るため広報・啓発を行うとともに、援助事業推進室における就職相談等を実施する。

### 2 人材受入情報の収集提供

地域内における円滑な就職を促進するため、人材受入情報及び企業情報等を収集し、ホームページに掲載するとともに、ハローワークでの求人票化を図る。

インタ-ネットによる求人情報の提供  
企業ガイドブックの作成・配布

### 3 求職者支援講座の実施

地域求職者の就職を容易にするための必要な知識等を習得させるための支援講座を実施する。

ITスキル講座	〔開 催	7月、11月
	〔場 所	鳥取、倉吉、米子三会場
ビジネスマナー講座	〔開 催	9月
	〔場 所	鳥取、倉吉、米子三会場

### 4 企業合同説明会の開催

多くの企業と地域求職者及び学生等が一堂に会する場を提供することで、企業の人材確保及び地域求職者の就職促進に大きな効果が期待できることから、鳥取労働局及び鳥取県等と連携して就職フェアを開催する。

開 催 8月、2月  
場 所 鳥取、倉吉、米子三会場（2月は高校生も対象）

## 若年者地域連携事業の推進

若年者を取り巻く雇用環境は、未就職卒業生をはじめ、中途離職者やフリー-タ-が増加傾向にあるなど厳しい状況が続いている。このため、県が設置している「とっとり若者仕事ぶらざ」及び「よなご若者仕事ぶらざ」において、国からの委託を受けて以下に掲げる事業(概ね30歳未満対象)を推進し、若年者の就職を支援する。

### 1 情報の提供

若年者に対する採用意欲を喚起するため、若年者の採用を促す幅広い広報・啓発活動を展開するとともに、職業意識形成を支援するための学習コーナーの設置及び各種支援情報を提供する。

(1) インターネットによる情報の提供

ホ - ムペ - ジに各種取組を掲載し周知・啓発を図るとともに、メ - ルマガジンで就職支援情報を提供する。

(2) 学習コーナーの運営

就職に役立つ図書やビデオ等を整備し、若年者の就業意欲の向上を図るとともに、就職への心がまえ等を教示する。

(3) 仕事体験談等の作成・配布

就職した先輩の体験談や意見等を編集し、ホ - ムペ - ジに掲載して若年者の職業意識の醸成を図る。

(4) 若年者の雇用拡大のための広報・啓発

事業主の若年者に対する採用意欲の喚起を図るため、若年者の採用を促す幅広い広報・啓発活動を実施する。

2 企業説明会の開催

(1) 企業合同説明会の開催

地域の事業所に関する理解を深めるため、若年者等を対象に当該事業所の事業の概要、従事すべき業務やその他求人の内容等について説明を行う企業合同説明会を開催する。

開 催 5月・11月：鳥取、倉吉、米子三会場

対 象 5月：大学生等、若年者、一般求職者

11月：新規高等学校卒業予定者

(2) 求人事業所説明会

新規高等学校卒業生の採用を希望する企業から、当該企業の事業の概要、業務の内容等を紹介してもらい、企業への理解の深化を図るとともに県内定着を促進する。

開 催 8月

場 所 鳥取、倉吉、米子三会場

3 セミナー等の開催

(1) 大学生等のための就職セミナーの開催

大学生等を対象に、専門家による就職活動や企業が求める人材等就職セミナーを開催し、今後の就職活動を支援する。

学校単位方式 通年・10コ - ス

集合方式 7月

## (2) 高校生のための就職セミナーの開催

高校生を対象に、本格的な就職活動を始める前に、企業経営者や専門分野の職員及び先輩からの「正しい職業観」や「適切な職業選択」へのアドバイス及び将来設計に資する支援講座を実施し、進路選択に当たっての自己開発の機会を提供する。

学校単位方式 通年：20コース  
集合方式 8月：鳥取、倉吉、米子三会場

## (3) 保護者セミナーの開催

高校生等の保護者を対象に、学校と連携して県内企業の人事担当者や民間企業の講師等を招きセミナーを開催し、学生の進路選択への理解の深化を図る。

開催 5回  
場所 県内各高等学校等

## (4) 高等学校進路指導担当者セミナーの開催

高等学校進路指導担当者を対象に、県内企業の人事担当者や民間企業の講師等を招きセミナーを開催し、企業が求める人材像や採用企業開拓のポイントなど進路指導に必要な知識の習得の場を提供する。

開催 8月  
場所 鳥取、倉吉、米子三会場

## (5) 中学生のための仕事セミナーの開催

若年者の職場定着にあたっては、早い時期から就職に関する関心度を高め「仕事とは？、就職するとは？」など職業意識の醸成を図り、目的意識をもって将来の進路選択にむけて自己開発ができるよう職業や就職等に関するセミナーを開催する。

開催 6回  
場所 県内市町村立中学校等

## (6) フリーターへの就職支援セミナーの開催

フリーターの常用就職に資するために、自己発見、傷記のための経験等に関するセミナーを開催する。

## (7) 土曜セミナーの実施

若年者を対象に、就職を見据えた社会人として知っておきたい知識等について、セミナー等を実施する。(毎週土曜日)

## 4 職場見学会の実施

高校生等を対象に、県内企業を訪問し実施の職場環境や業務内容等を掌握する機会を設け、企業に対する理解の深化を図るとともに、地元企業への定着のきっかけづくりをサポートする。

開催 6月～3月・10コース

## 5 ジュニアインターンシップの広報・啓発

県内企業に対し、ジュニアインターンシップの意義、その実施方法や留意点等受け入れに関する理解の深化を図るため情報収集を行うとともに、広報・啓発を行い、積極的な協力等を促す。

### 産業人材誘致センター事業の推進

団塊の世代の大量退職を控え、県外の退職者の持つ知識、技能、ノウハウなどを県内産業の振興に活用し、県内企業の人材面における産業基盤の確立を図る。

#### 1 事業の推進

県内企業の人材ニーズの把握し、県外の人材の発掘・スカウトを行い、情報の集中化を進め、マッチングを進める。